

# やまとの環境

## 概要版

— 環境基本計画年次報告書 —  
平成 29 年度版（平成 28 年度実績報告）



(出典：公益財団法人大和市スポーツ・よか・みどり財団 自然観察センター・しらかしのいえ)

# 大 和 市

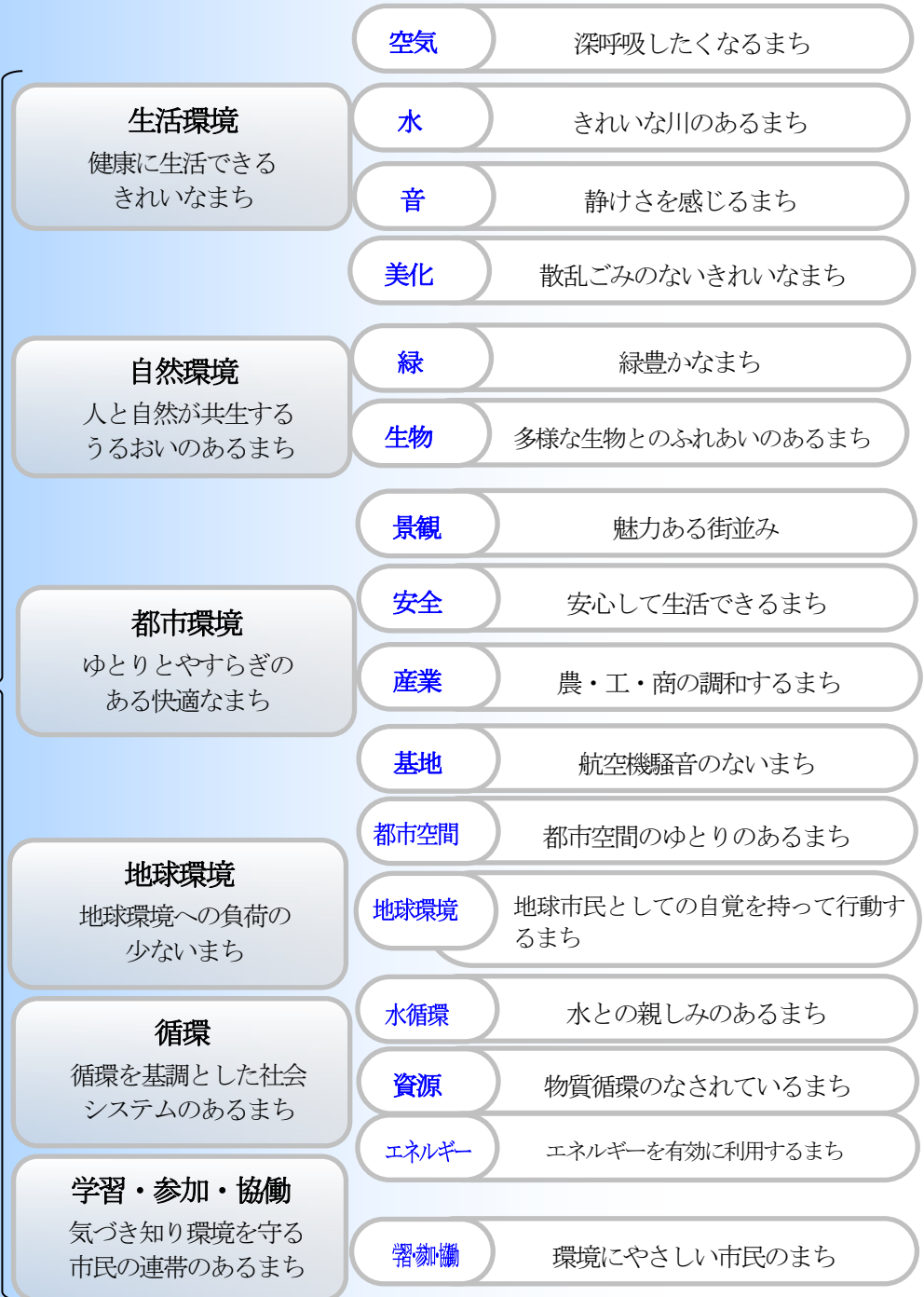
## やまとの環境（大和市環境基本計画年次報告書）について

やまとの望ましい環境像、「自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと」の実現のために、大和市では平成11年度に環境基本計画を策定しました。平成19年度には、目標設定水準や施策の見直し、とりわけ地球温暖化対策の推進などを踏まえ、改定しました。

本計画では、目標の達成度や、施策の進行状況を定期的に把握・評価し、必要に応じて見直しや修正を行います。このことから、やまとの環境の現況と、環境基本計画に基づく施策の進行状況等を明らかにするため、ここに年次報告書として取りまとめ、公表することにより、情報の公開と共有を図るものです。

自然の恵みを取り入れた、健康に生活できる、一生を安心して暮らせるふるさと

望ましい環境像の実現



《指標項目についての進捗状況の一覧》

- 目標値は概ね平成29年度のものです。
- 達成度
  - ：目標を達成している
  - △：目標は達成していないが、前年度と同水準又は目標に近づいている
  - ×：目標から遠ざかっている

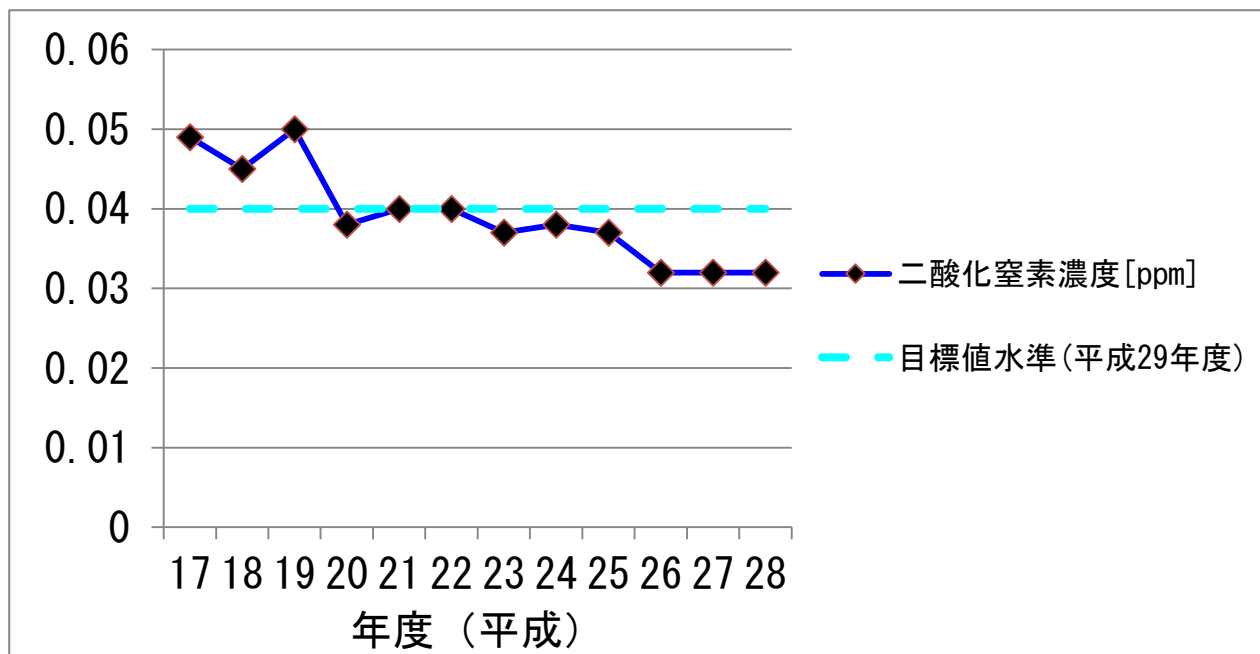
各環境要素の評価一覧

環境要素	指標項目	現況値及び目標値	H27 年度数値	H28 年度数値	達成度
①空気	二酸化窒素濃度	18 年値 0.045ppm	0.032ppm	0.032ppm	○
		目標値 0.04ppm 以下			
②水	BOD (生物化学的酸素要求量)	18 年値 境川 2.5mg/1 引地川 1.5mg/1	境川 1.4mg/1 引地川 1.0 mg/1	境川 1.6mg/1 引地川 1.4mg/1	○
		目標値境川 3.0mg/1 以下 引地川 2.0mg/1 以下			
③音	騒音に係る環境基準の達成率	18 年値 17%	83%	50%	×
		目標値 100%			
④美化	「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合	19 年値 10%	24%	24%	△
		目標値 25%			
⑤緑	緑地率	18 年値 18%	16.4%	16.2%	×
		目標値 20%			
⑥生物	「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合	19 年値 21%	36%	38%	△
		目標値 45%			
	市内でミンミンゼミの生息が確認されていること	18 年値 生息を確認 目標値 生息を確認	1=生息を確認	1=生息を確認	1=生息を確認
⑦景観	「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合	19 年値 9%	9%	11%	△
		目標値 25%			
⑧安全	各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数	18 年値 4 種類	3 種類	3 種類	×
		目標値 0 種類			
⑨産業	環境マネジメントシステム導入事業所数	18 年値 56 事業所	47 事業所	40 事業所	×
		目標値 300 事業所			
⑩基地	航空機騒音に係る環境基準の達成率	18 年値 0%	0%	0%	×
		目標値 100%			
⑪ 都市空間	一人当たりの都市公園等面積	18 年値 5.89 m <sup>2</sup>	6.54 m <sup>2</sup>	6.63 m <sup>2</sup>	△
		目標値 6.8 m <sup>2</sup>			
⑫ 地球環境	二酸化炭素の排出量	18 年値 23.6 万 t-C	22.7 万 t-C	22.6 万 t-C	×
		目標値 17.3 万 t-C			
⑬ 水循環	河川流量	18 年値 境川 2.45 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.78 m <sup>3</sup> /秒	境川 1.56 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.73 m <sup>3</sup> /秒	境川 1.59 m <sup>3</sup> /秒 引地川 0.40 m <sup>3</sup> /秒	×
		目標値 境川 3.5 m <sup>3</sup> /秒 引地川 1.0 m <sup>3</sup> /秒			
	雨水貯留槽購入費補助申請件数 (累積)	18 年値 159 件 目標値 500 件	406 件	428 件	△
⑭ 資源	資源化率	18 年値 22.9%	23.4%	26.7%	△
		目標値 32.1%			
⑮ エネルギー	市民一人一日当たりごみ排出量	18 年値 529 g	443g	435g	△
		目標値 412 g			
⑯ エネルギー	公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入	19 年値 7 施設	30 施設	31 施設	△
		目標値 全施設			
⑰ 学習・参加・協働	やまとみどりの学校プログラムへの参加校	18 年値 23 校	28 校	28 校	○
		目標値 市内全校			
	環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合	19 年値 19% 目標値 前年度より高い割合	14%	18%	○

環境要素 1：空気

目標：深呼吸したくなるまち

全体の数値目標：二酸化窒素濃度 0.04ppm 以下



【本年度の評価】 目標を達成できた

【評価の理由】 二酸化窒素濃度が目標値を下回ったため

【目標の確認のための取組】 常時監視測定局の大和市役所における、二酸化窒素濃度年間9.8%値（環境基準）の経年変化を測定

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
二酸化窒素濃度 [ppm]	0.038	0.037	0.032	0.032	0.032	0.04

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 20

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 1

《平成 28 年度の取組事例》

・上草柳トラックステーションにおいて、9、2月の月に1回ずつアイドリングストップ調査を実施し、11月にはステッカーの配布により、啓発活動を実施した。また、開発協議41件の駐車場管理者に対し、アイドリングストップの周知を指導した。(○)

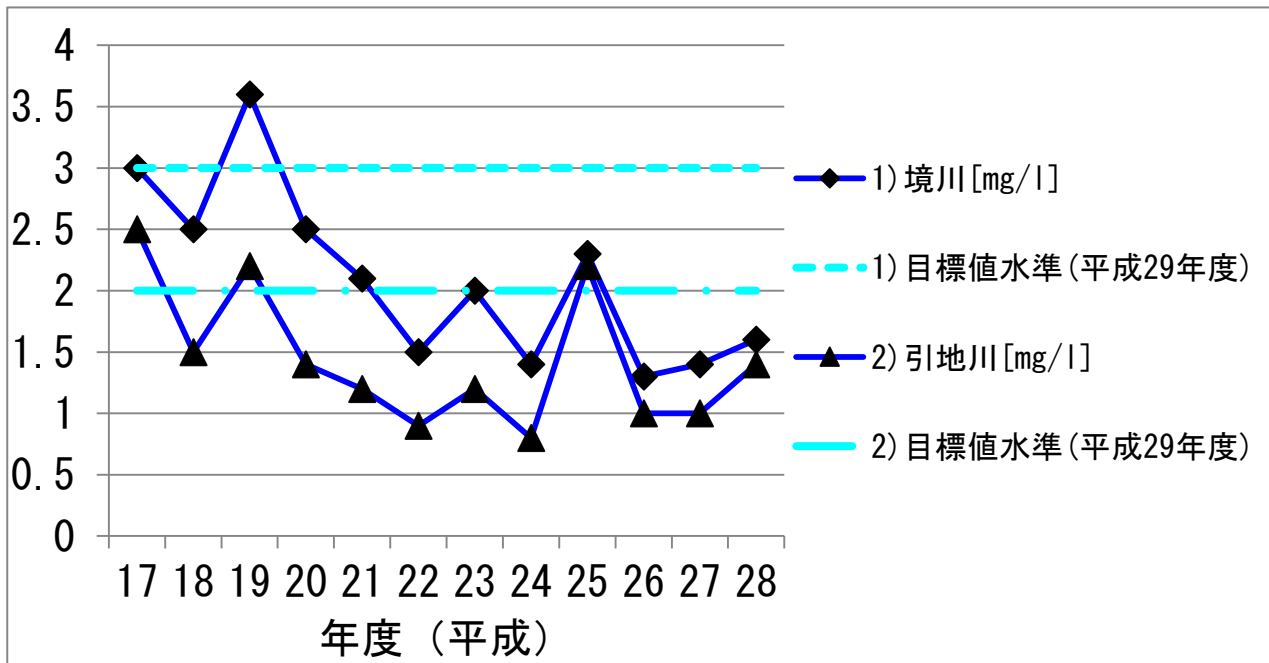
・神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく許可申請時や、解体工事に伴う特定建設作業の届出時において悪臭・粉じん防止対策等について指導した。また、悪臭・粉じん苦情に対し、事業者を指導した。(○)

環境要素 2：水

目標：きれいな川のあるまち

全体の数値目標：BOD(生物化学的酸素要求量)

境川 3.0mg/l 以下 引地川 2.0mg/l 以下



【本年度の評価】 目標を達成できた

【評価の理由】 BODが基準値以下になり目標を達成したため

【目標の確認のための取組】 河川の水質測定

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
境川[mg/l]	1.4	2.3	1.3	1.4	1.6	3.0
引地川[mg/l]	0.8	2.2	1.0	1.0	1.4	2.0

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 13

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 2

《平成 28 年度の取組事例》

・水質汚濁防止法及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づき、のべ 55 事業所について立入調査を行い、27 件について水質検査を実施した。(○)

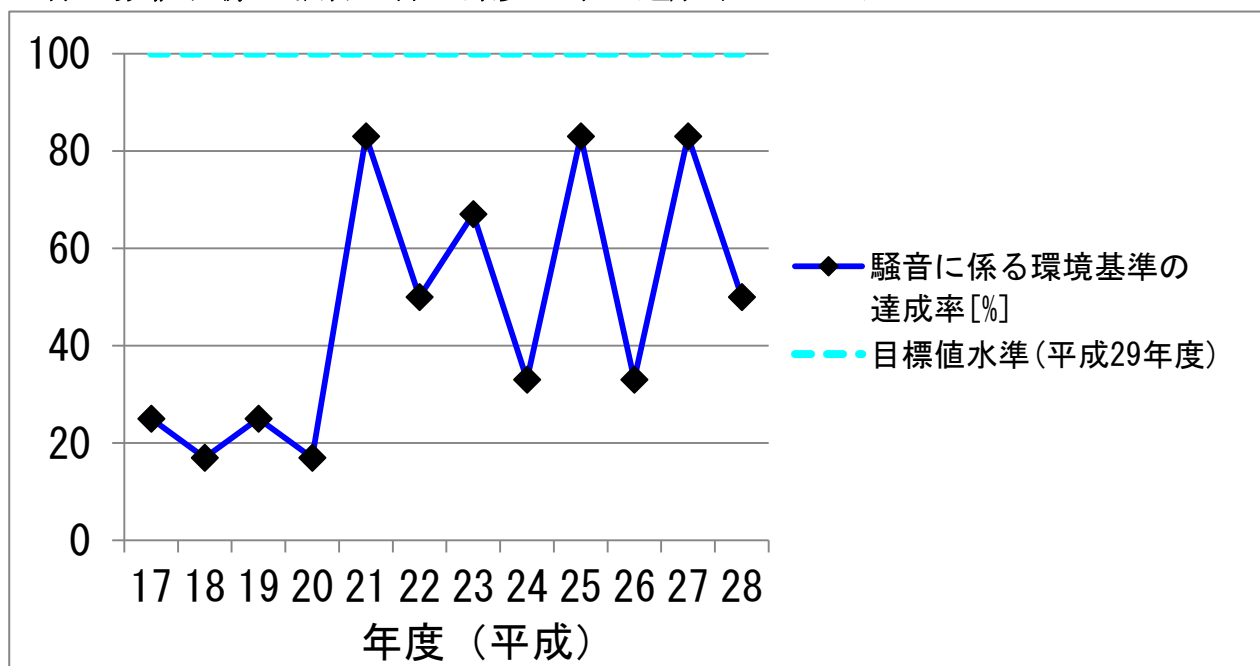
・下水道供用開始区域の未接続家屋を把握確認し、水洗便所への改造、未接続家屋の建替えにより水洗化が図れた。(○)

・下水道出前授業(実施校 20 校)、下水道ポスター展の開催し、下水道に関するイベントや学校教育等により、生活排水と下水道の役割についての意識啓発を進めた。(○)

### 環境要素 3：音

目標：静けさを感じるまち

全体の数値目標：騒音に係る環境基準の達成率 100%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標から遠ざかった

【評価の理由】 環境基準を満足している地点数が減少したため

【目標の確認のための取組】 幹線交通を担う道路における騒音測定

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
騒音に係る環境基準の達成率[%]	33	83	33	83	50	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 12

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

－その他の状況の取組の数 : 1

#### 《平成 28 年度の取組事例》

・神奈川県生活環境の保全等に関する条例に基づく許可申請時等において、事業者に対し騒音・振動防止対策を指導した。また、工場・事業場から発生した騒音・振動苦情 29 件について事業者に指導を行った。(○)

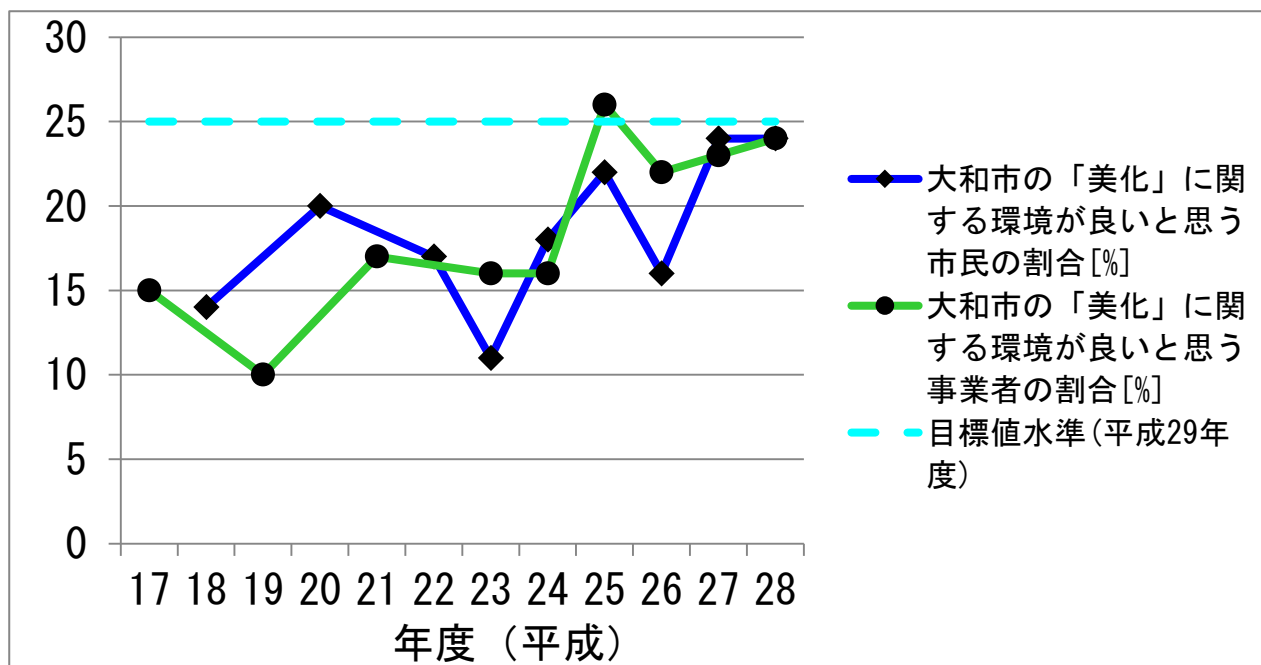
・建設作業に伴う騒音・振動苦情 20 件について実態を調査し、事業者を指導した。(○)

・啓発用リーフレットやホームページ等により、自動車利用者への意識啓発を図った。(○)

## 環境要素 4：美化

目標：散乱ごみのないきれいなまち

全体の数値目標：大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 市民の美化に関する環境が良いと思う割合は昨年と同様だったが、事業者の美化に関する環境が良いと思う割合が増加したため

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケートの実施

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う市民の割合[%]	18	22	16	24	24	25
大和市の「美化」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%]	16	26	22	23	24	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 14

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 0

《平成 28 年度の取組事例》

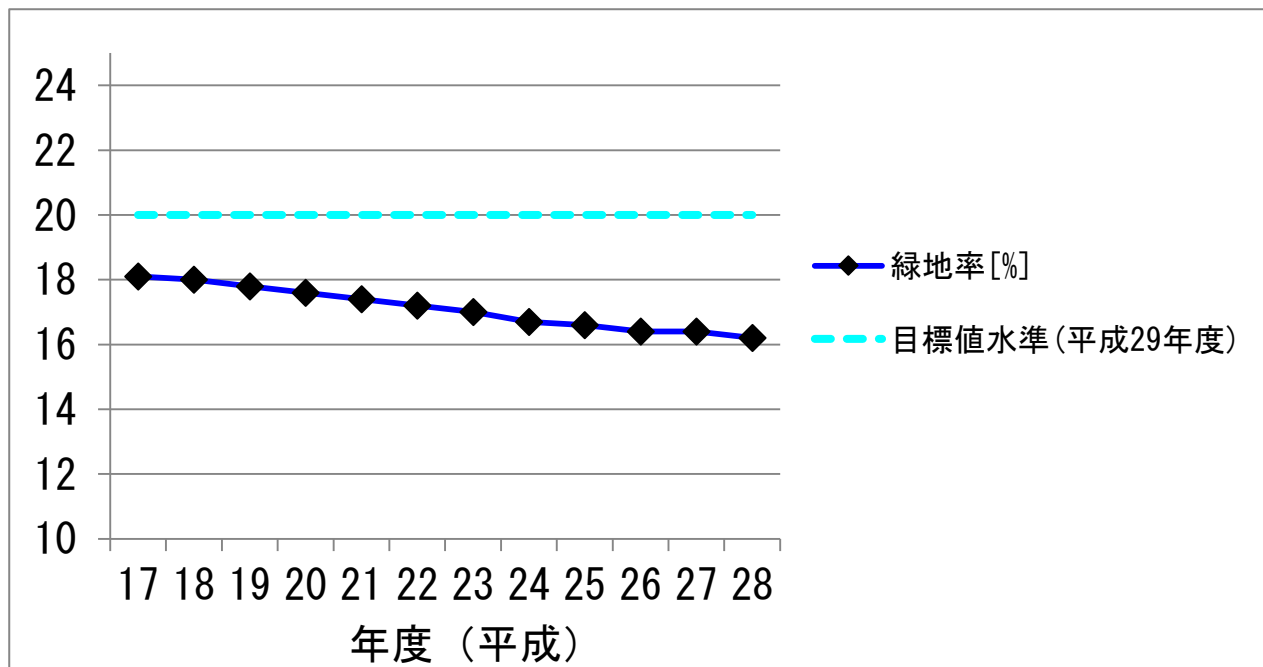
・不法投棄防止の啓発看板等の作成やパトロールを行うとともに、ボランティア袋を市民に配布し散乱ごみや不法投棄防止のための意識啓発を行った。(○)

・年間クリーンキャンペーンとして、清掃の日、例月まち並み清掃、美化推進月間クリーンキャンペーンを実施し、美化活動を行った。(○)

環境要素 5：緑

目標：緑豊かなまち

全体の数値目標：緑地率 20%



【本年度の評価】 目標値を達成できなかった

【評価の理由】 宅地化の進展により、僅かずつ緑地の減少が続いているため

【目標の確認のための取組】 固定資産税統計表により緑の割合を把握

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
緑地率[%]	16.7	16.6	16.4	16.4	16.2	20.0

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 15

△到達目標に届かなかった取組の数 : 3

—その他の状況の取組の数 : 1

《平成 28 年度の取組事例》

・緑のカーテン作り方教室を開催し、参加者へ緑化資材を配布し、市街地内の良好な環境形成に寄与する積極的な緑化を進めた。(○)

・住宅地における接道部緑化（生垣等設置）に対して助成を行い、住宅地の緑化を進めるにあたり、市民が行う緑化に対して技術的及び物的支援を行った。(○)

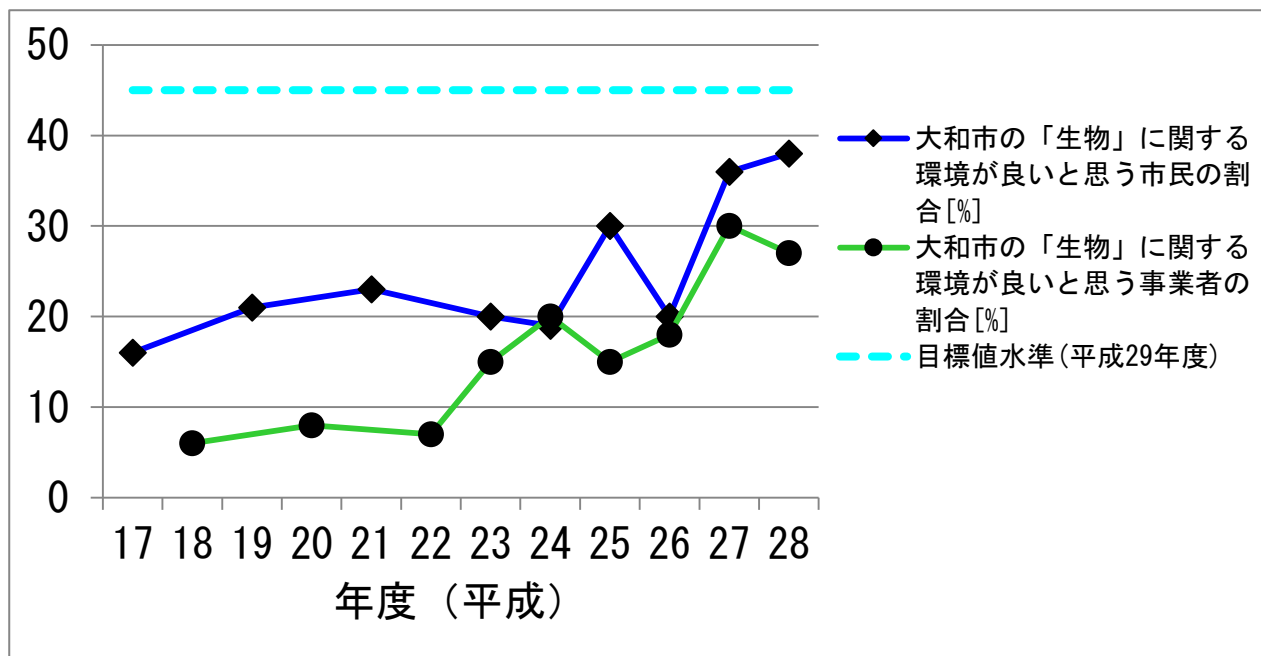
・新たな愛護会が設置できるように誘導及び各愛護会を継続して支援し、市民参加による緑化活動を支援した。(○)



## 環境要素 6：生物

目標：多様な生物とのふれあいのあるまち

全体の数値目標：大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合 45%



**【本年度の評価】** 市民割合は、昨年度よりやや目標に近づいたが、事業者割合は目標から遠ざかった

**【評価の理由】** 市民の「生物」に関する環境が良いと思う割合は目標に近づいたが、事業者は目標から遠ざかったため

**【目標の確認のための取組】** 市民・事業者アンケートの実施

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う市民の割合[%]	19	30	20	36	38	45
大和市の「生物」に関する環境が良いと思う事業所の割合[%]	20	15	18	30	27	45

全体の数値目標:市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること  
1(1=確認)

【本年度の評価】目標を達成している

【評価の理由】例年同様にミンミンゼミが確認されている

【目標の確認のための取組】市民環境調査(セミのぬけがら調査)による調査

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
市内でミンミンゼミの生息が継続的に確認されていること[1=確認]	1(2,909)	1(3,212)	1(2,316)	1(3,355)	1(3,118)	1

※ ( ) 内の数値は、ミンミンゼミの採集したぬけがらの数

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 9

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 0

《平成28年度の取組事例》

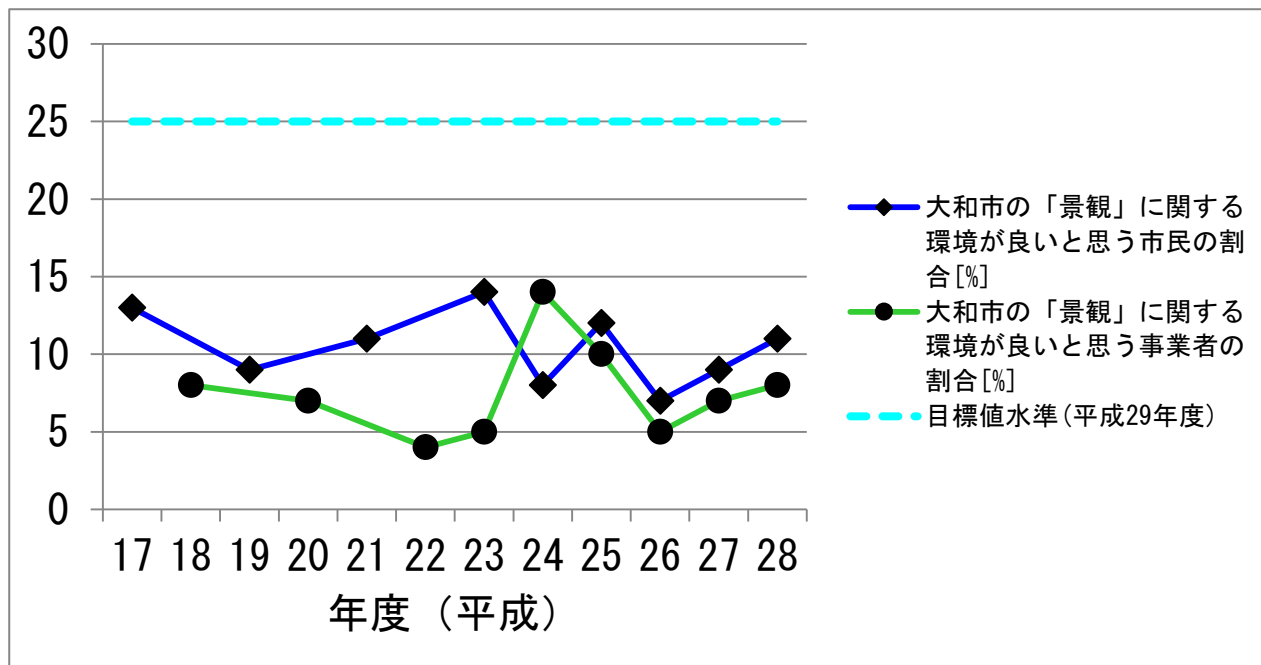
・市内に生息する野生動植物を調査する市民環境調査として、7月～9月にセミのぬけがら調査を実施し、ミンミンゼミ等の生息状況を把握した。(○)

・ホームページやリーフレット等を利用し、継続的に野生動植物保護に関する普及啓発を図った。また、外来種による在来生態系への影響についての情報収集とその提供を行った。(○)

## 環境要素 7：景観

目標：魅力ある街並み

全体の数値目標：大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合 25%



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 市民、事業所ともに「景観」に関する環境が良いと思う割合が増加したため

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケートの実施

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う市民の割合[%]	8	12	7	9	11	25
大和市の「景観」に関する環境が良いと思う事業者の割合[%]	14	10	5	7	8	25

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 8

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 2

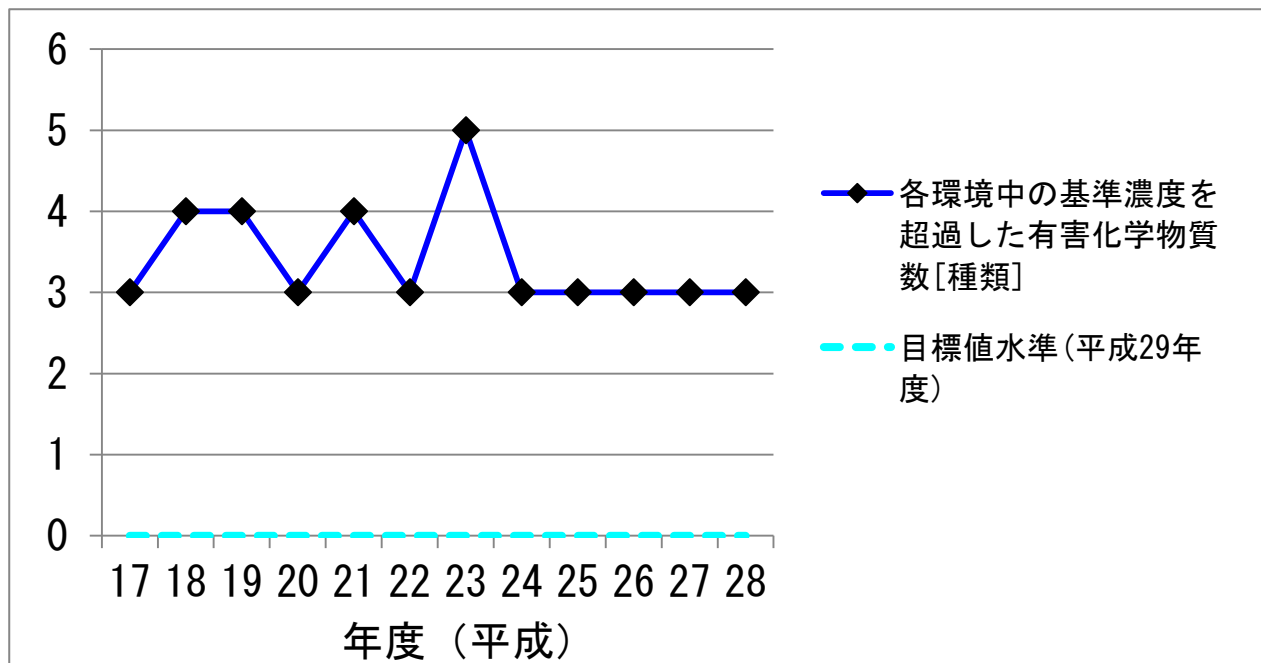
《平成 28 年度の取組事例》

- ・景観づくりに関する普及啓発を進めるため、街づくり学校の開催や街づくり賞を実施した。 (○)
- ・1223 m<sup>2</sup>の用地を買収し、ゆとりある歩道の確保や、歩道と車道の区画部の改善を図った。 (○)

## 環境要素 8：安全

目標：安心して生活できるまち

全体の数値目標：各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数0種類



【本年度の評価】 目標を達成できなかった

【評価の理由】 有害物質数が昨年と同数超過したため

【目標の確認のための取組】 各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数の測定

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
各環境中の基準濃度を超過した有害化学物質数[種類]	3	3	3	3	3	0

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 21

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 2

《平成 28 年度の取組事例》

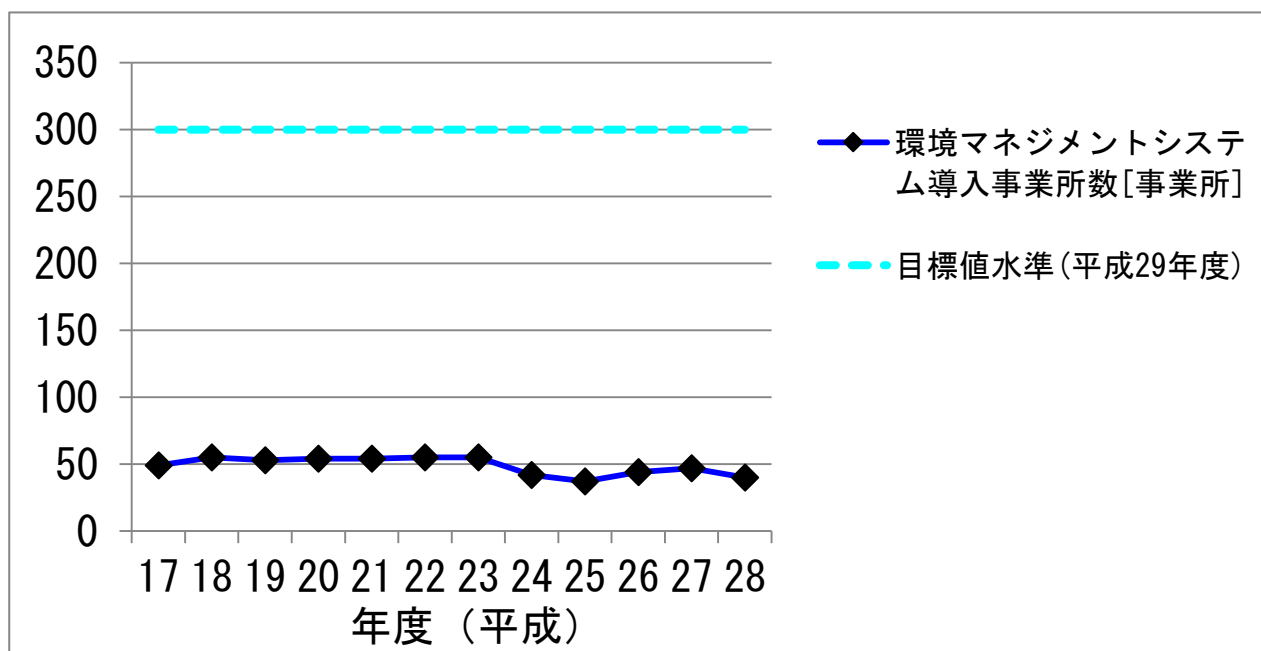
・23 事業所について立入調査を実施し、化学物質に対する情報提供や、使用者に対する調査を実施した。(○)

・廃棄物処理施設周辺のダイオキシン類（大気）及び地下水質の調査を行ったところ、ダイオキシン類及び地下水について環境基準を超過している項目はなかった。(○)

## 環境要素 9：産業

目標：農・工・商の調和するまち

全体の数値目標：環境マネジメントシステム導入事業所数 300 事業所



【本年度の評価】 目標を達成できなかった

【評価の理由】 市内の ISO14001 規格取得事業所の数が昨年度より減少したため

【目標の確認のための取組】 市内の ISO14001 規格取得事業所の調査による

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
環境マネジメントシステム導入事業所数[事業所]	36	37	44	47	40	300

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 1

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 8

《平成 28 年度の取組事例》

・平成 28 年度の環境保全型農業直接支援申請件数は0件であった。 (△)

・農業後継者を育成するため、さがみ農業協同組合が行う各種営農指導等を支援し、事業に対して補助金を交付した。 (○)

## 環境要素 10：基地

目標：航空機騒音のないまち

全体の数値目標：航空機騒音に係る環境基準の達成率 100%

【本年度の評価】 目標を達成できなかった

【評価の理由】 日米両国間の条約により、国が米軍に施設を提供していることに起因する航空機騒音であり、厚木基地を取り巻く状況は大きく変わっていないため

【目標の確認のための取組】 航空機騒音測定

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	目標値
航空機騒音に係る環境基準の達成率 [%] (前年度同様、本年度も5ヶ所全てが環境基準を満たさなかった。)	0	0	0	0	0	100

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 15

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

《平成 28 年度の取組事例》

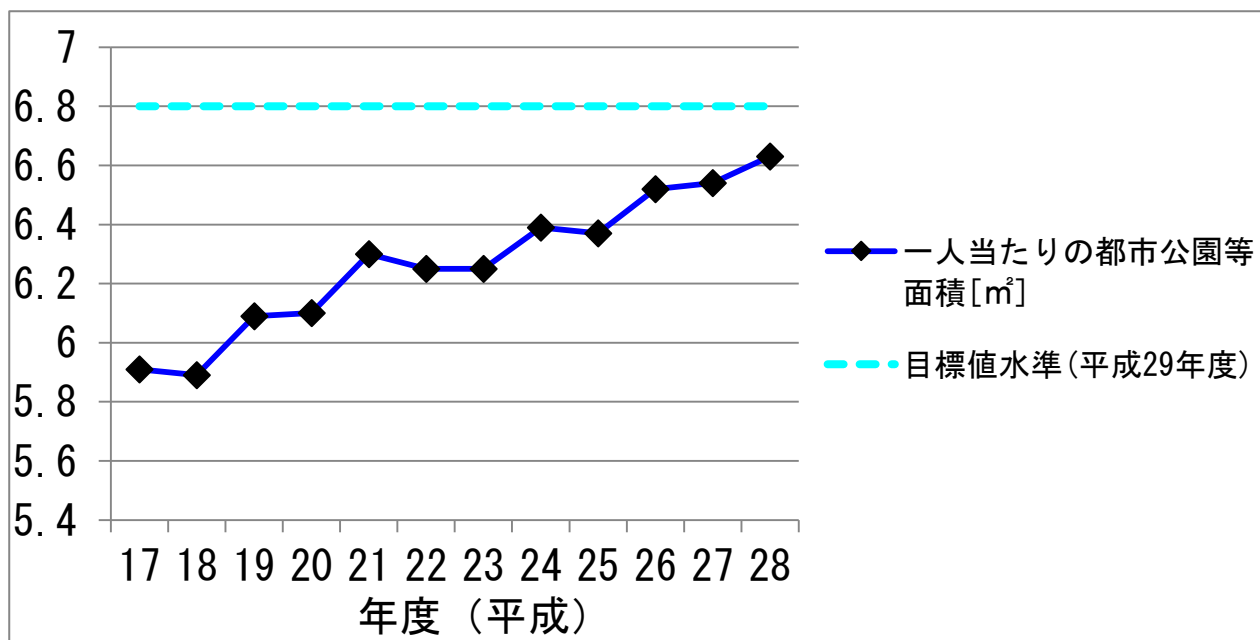
・大和市基地対策協議会、厚木基地騒音対策協議会、神奈川県基地関係縣市連絡協議会による要請活動、及びNLP実施時の要請活動を行い、NLPの硫黄島全面移転への要請を継続した。(○)

・基地機能の縮小化への働きかけについて、大和市基地対策協議会、神奈川県基地関係縣市連絡協議会による要請内容に盛り込んだ。(○)

## 環境要素 11：都市空間

目標：都市空間のゆとりのあるまち

全体の数値目標：一人当たりの都市公園等面積 6.8m<sup>2</sup>



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 人口の増加に応じた面積に対応している公園整備を行っているため

【目標の確認のための取組】 「緑の基本計画」の目標水準に沿って取り組んだ

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
一人当たりの都市公園等面積[m <sup>2</sup> ]	6.39	6.37	6.52	6.54	6.63	6.8

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 1

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 16

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 3

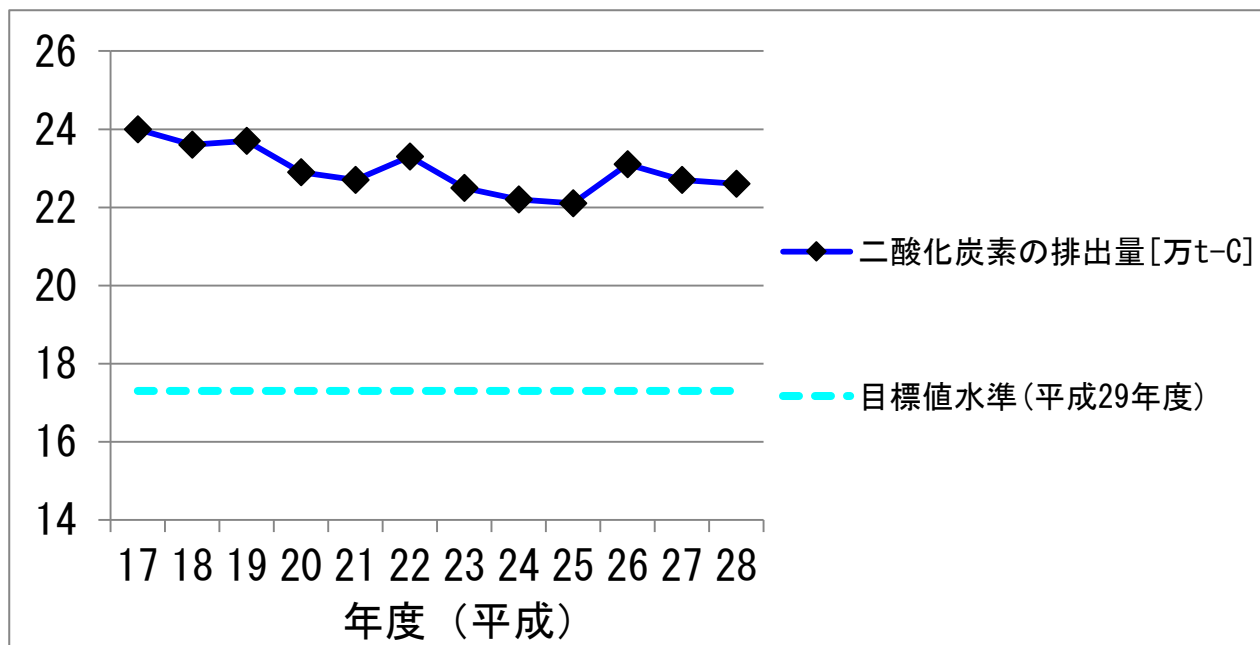
《平成28年度の取組事例》

- ・開発等に伴う環境問題の発生を未然に防止するため、開発事業の適正な指導を行い、良好な生活環境の確保に努めた。 (○)
- ・公共交通機関を利用しやすい環境づくりを推進するため、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議を通じて、鉄道事業者に対し駅施設や車両等の整備、改善を要望し必要性を認識させることができた。 (○)

## 環境要素 12：地球環境

目標：地球市民としての自覚を持って行動するまち

全体の数値目標：二酸化炭素の排出量 17.3 万 t-C



【本年度の評価】 目標を達成できなかった

【評価の理由】 二酸化炭素の排出量を減らすことができなかったため

【目標の確認のための取組】 市内のエネルギー供給量調査に基づく温室効果ガス排出量算定結果 (推計値) による

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
二酸化炭素の排出量[万 t-C]	22.2	22.1	23.1	22.7	22.6	17.3

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 10

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

《平成 28 年度の取組事例》

- ・省エネルギー化を促すため、やまと EMS により公共施設での省エネに関する取り組みを広め、省エネを推進した。(○)
- ・自然エネルギーの普及を促すため、住宅用太陽光発電システム等設置費補助を行ったが、目標件数に満たなかった。(△)
- ・公共交通機関の利用及び自転車や徒歩による交通への移行を促すため、自転車通行帯を 7,680m 整備した。(○)

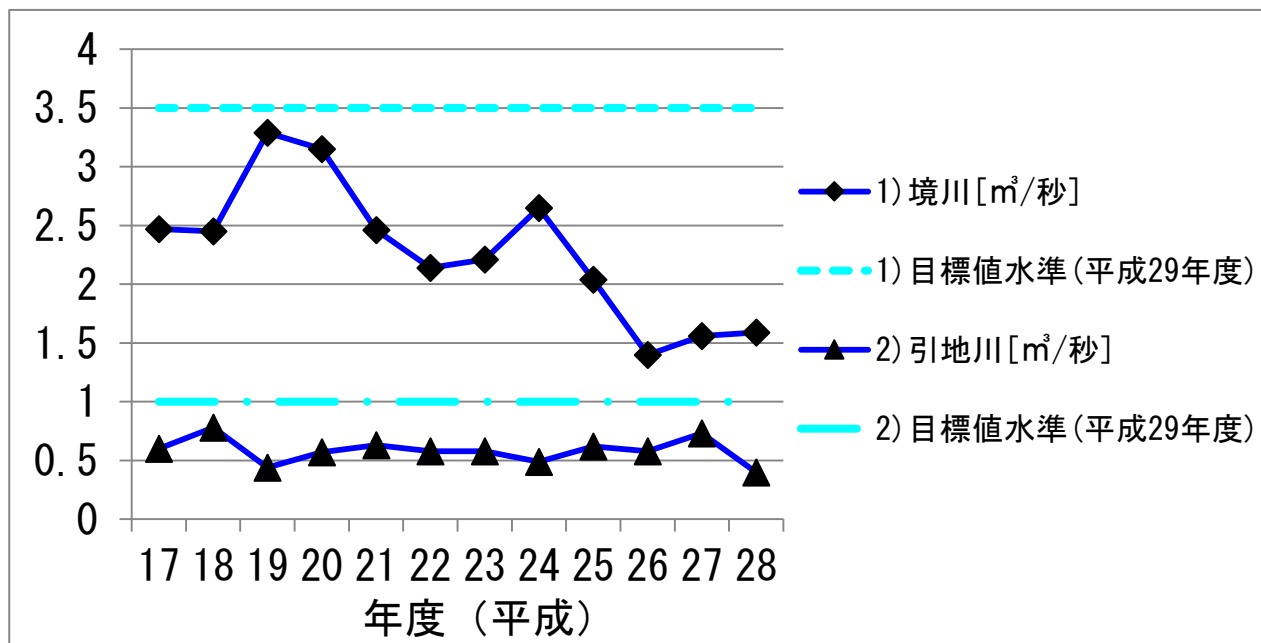


環境要素 13：水循環

目標：水との親しみのあるまち

全体の数値目標：河川流量

境川 3.5m<sup>3</sup>/秒 引地川 1.0m<sup>3</sup>/秒



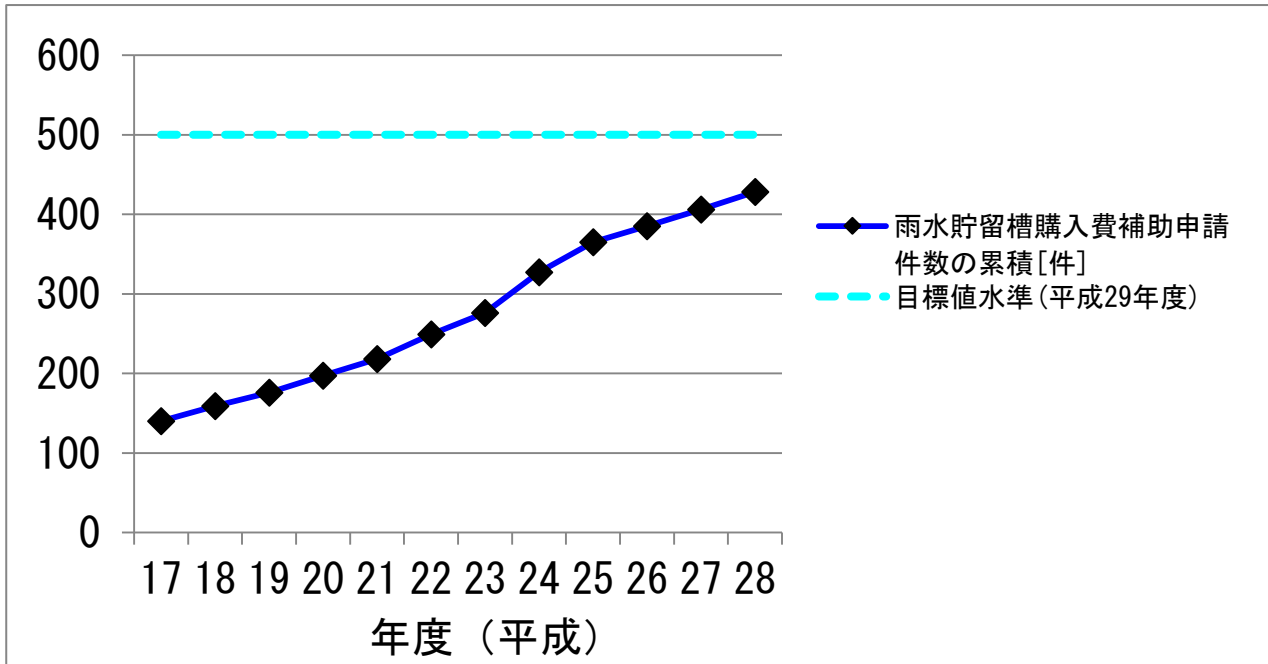
【本年度の評価】 境川の流量は昨年度とほぼ変わらず、引地川の流量は昨年度よりも目標値から遠ざかっている

【評価の理由】 いずれも河川流量は、増えていないため

【目標の確認のための取組】 境川・引地川の流量測定

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
境川[m <sup>3</sup> /秒]	2.65	2.04	1.40	1.56	1.59	3.5
引地川[m <sup>3</sup> /秒]	0.49	0.62	0.58	0.73	0.40	1.0

全体の数値目標：雨水貯留槽購入費補助申請件数（累積） 500 件



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 申請基数が順調に増加しているため

【目標の確認のための取組】 雨水貯留槽購入費用補助申請件数（累積）

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
雨水貯留槽購入費補助申請件数の累積[件]	327	365	385	406	428	500

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 12

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 4

《平成 28 年度の取組事例》

・雨水の利用を進めるため、雨水貯留槽購入費補助制度を実施し、22 基の補助申請件数があった。(○)

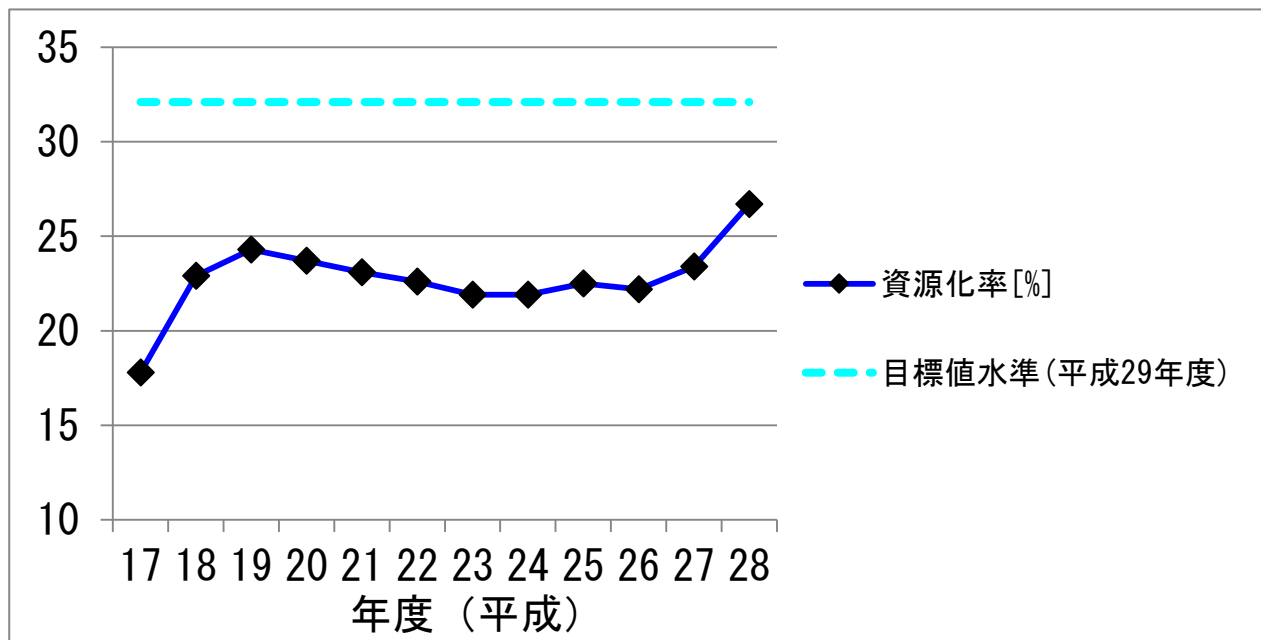
・立ち入りした 23 事業所について、神奈川県生活環境の保全等に関する条例、水質汚濁防止法、土壤汚染対策法に基づき、地下水汚染の未然防止等について指導した。(○)

・市内 17 地点で地下水水質調査を実施したところ、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が 1 地点で、六価クロムが 1 地点で環境基準を超過していた。(△)

環境要素 14：資源

目標：物質循環のなされているまち

全体の数値目標：資源化率 32.1%



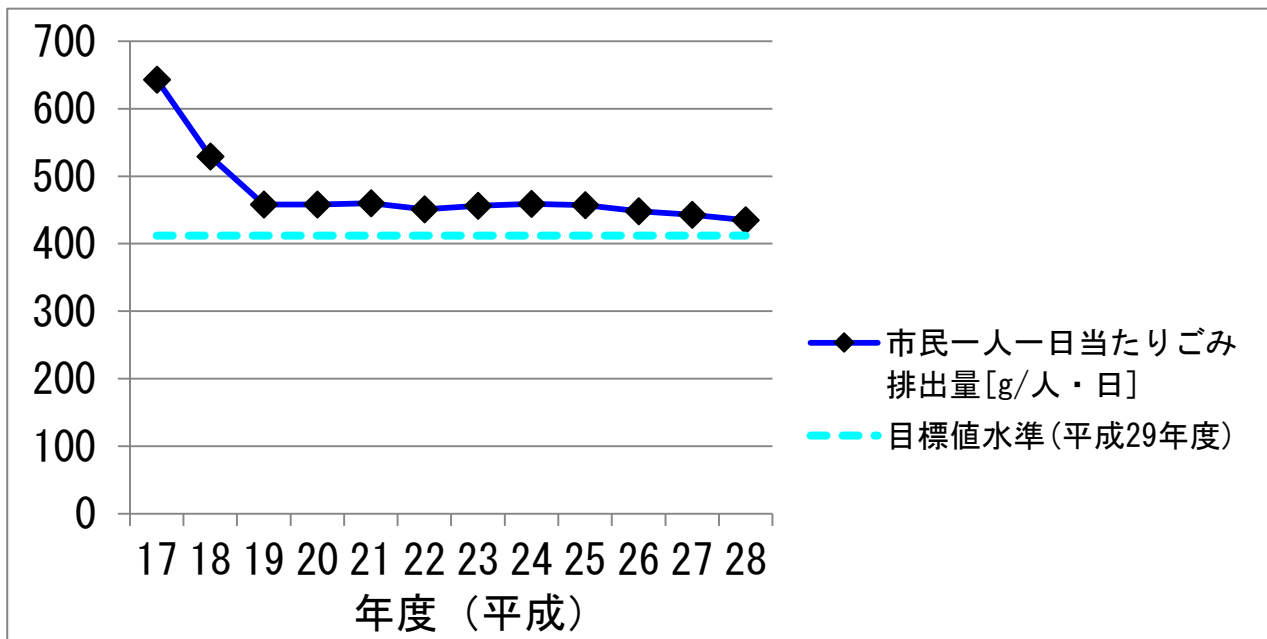
【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 資源分別回収について定着しつつあるため

【目標の確認のための取組】 総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
資源化率[%]	21.9	22.5	22.2	23.4	26.7	32.1

全体の数値目標：市民一人一日当たりごみ排出量 412g/人・日



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 ごみの減量については、市民に定着しているため

【目標の確認のための取組】 総ごみ排出量及び総資源化量の集計

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
市民一人一日当たりごみ排出量[g/人・日]	459	457	448	443	435	412

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 28

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 3

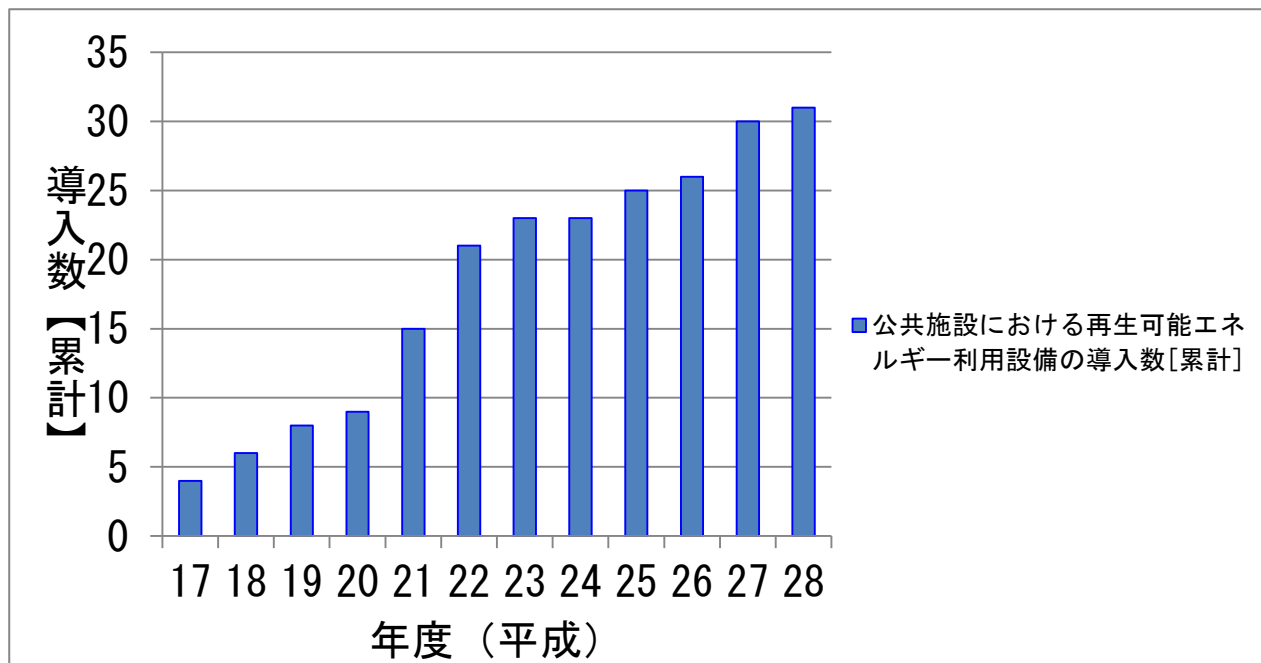
《平成 28 年度の取組事例》

- ・「家庭の資源とごみの分け方・出し方」パンフレット、カレンダーにより、ゴミ出しの啓発を行うと共に、不法投棄の指導をした。 (○)
- ・事業系有料指定ごみ袋による排出事業者等に対して、訪問指導や啓発活動を行い、廃棄物が適正に処理処分されるよう指導した。 (○)
- ・イベント時の啓発活動を通じて、市民に対してごみ減量化、資源化の取組をPRし、レジ袋の削減を推進した。 (○)

## 環境要素 15：エネルギー

目標：エネルギーを有効に利用しているまち

全体の数値目標：公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数：全施設



【本年度の評価】 昨年度よりやや目標に近づいた

【評価の理由】 1施設に導入できたため

【目標の確認のための取組】 公共施設に再生可能エネルギー利用設備を導入する。

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
公共施設における再生可能エネルギー利用設備の導入数[施設]	23	25	26	30	31	全施設

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 9

△到達目標に届かなかった取組の数 : 1

—その他の状況の取組の数 : 1

《平成28年度の取組事例》

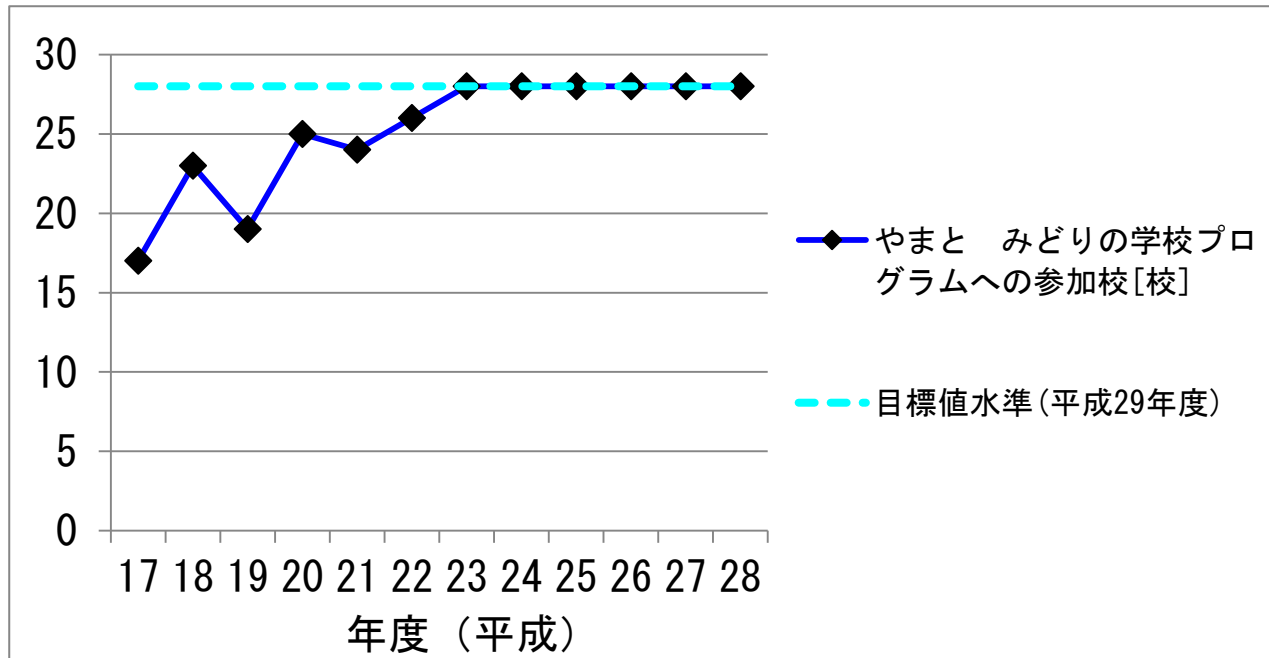
・大和市コミュニティセンター下草柳会館に太陽光発電設備を設置し、公共施設において自然エネルギーの導入を進めた。 (○)

・ごみ処理施設や下水道等でのエネルギーの有効利用を図るため、焼却炉稼働計画を作成し、効率的発電を実施したところ、当初計画以上の発電量を確保した。 (○)

環境要素 16：学習・参加・協働

目標：環境にやさしい市民のまち

全体の数値目標：やまと みどりの学校プログラムへの参加校 28校



【本年度の評価】 目標を達成できた

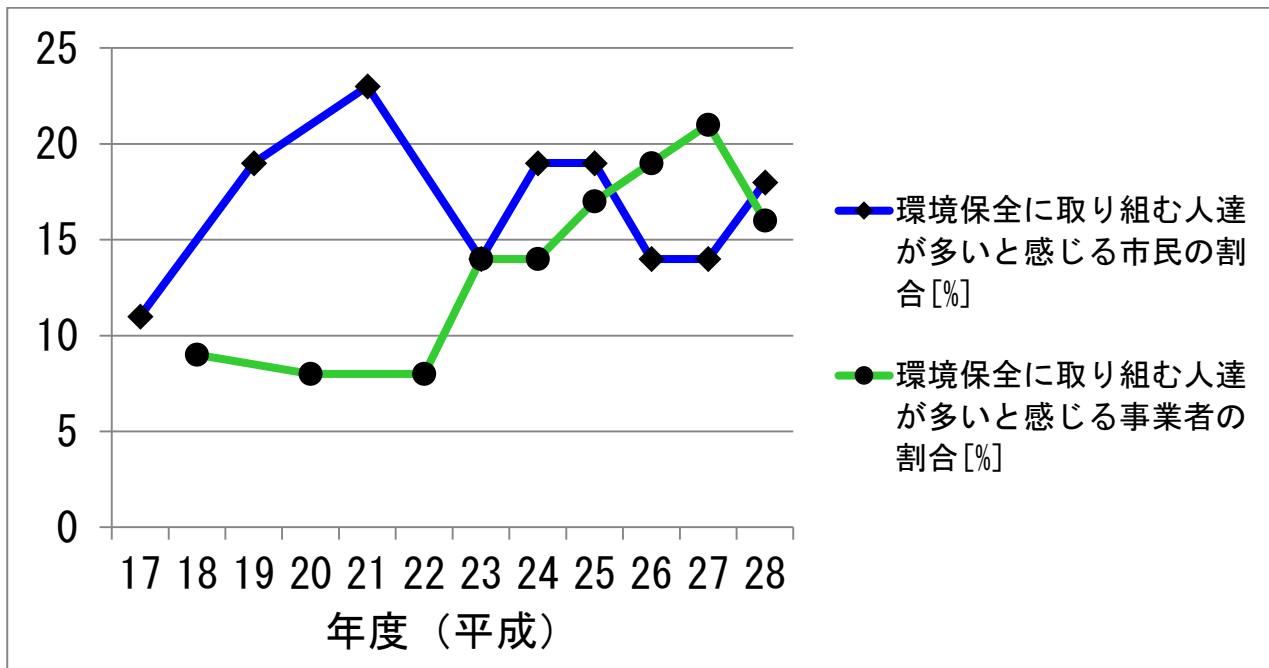
【評価の理由】 全小中学校が参加しているため

【目標の確認のための取組】 やまと みどりの学校プログラムへのエントリーの確認

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
やまと みどりの学校プログラムへの参加校[校]	28	28	28	28	28	28

※市立小学校19校、市立中学校9校

全体の数値目標：環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合が前年度と比べ増加



【本年度の評価】 市民の割合は目標を達成したが、事業者の割合は、目標を達成できなかった

【評価の理由】 環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合は増加したが、事業者の割合が減少したため

【目標の確認のための取組】 市民・事業者アンケートの実施

項目	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値
環境保全に取り組む人達が多いと感じる市民の割合 [%]	19	19	14	14	18	昨年度より増加
環境保全に取り組む人達が多いと感じる事業所の割合 [%]	14	17	19	21	16	昨年度より増加

◎到達目標以上に進んだ取組の数 : 0

○到達目標どおりに進んだ取組の数 : 19

△到達目標に届かなかった取組の数 : 0

—その他の状況の取組の数 : 0

《平成 28 年度の取組事例》

・環境学習に関する指導者の育成・支援を図るため、地域の自然を体験しつつワークショップを交えた講座等を開成し、多くの市民が参加した。 (○)

・やまとみどりの学校プログラムへのエントリーを呼びかけ、推進委員会の開催、環境総務課と協力して学校への支援、活動報告書の作成、登録証の発行を行った。 (○)